

問1. 以下の問に答えよ。

- 1)  $N$ 個の自由電子について考え、状態密度を  $D(E)$ 、フェルミエネルギーを  $E_F$ 、化学ポテンシャルを  $\mu$  とする ( $E$  はエネルギーである)。温度  $T$  のときの系の全エネルギー  $W(T)$  は、

$$W(T) = \int_0^{\infty} ED(E)f(E,T)dE$$

で表わされる。 $f(E, T)$  は、フェルミ-ディラックの分布関数であり次式で表される ( $k_B$  はボルツマン定数)。

$$f(E, T) = \frac{1}{\exp\left(\frac{E - \mu}{k_B T}\right) + 1}$$

$W(0)$  を求めよ。なお、0 K では化学ポテンシャル  $\mu$  はフェルミエネルギー  $E_F$  に等しい。

- 2) 0 K では、粒子数  $N$  については次式で表わされる。

$$N = \int_0^{E_F} D(E)dE$$

では温度  $T$  のとき、粒子数  $N$  はどう表現されるか。フェルミ-ディラックの分布関数を用いて表せ。

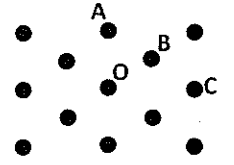
- 3) 1) および 2) の結果を基に

$$W(T) - W(0) = \int_{E_F}^{\infty} (E - E_F)D(E)f(E, T) dE + \int_0^{E_F} (E_F - E)(1 - f(E, T))D(E) dE$$

を導け。

問2. 以下の問に答えよ。

- 1) ダイヤモンド格子の $(hkl)$ 面に対する結晶構造因子 $F$ を計算し、消滅則を説明せよ。ただし、原子散乱因子を $f$ 、単位胞内の原子の座標を $000, \frac{1}{2}\frac{1}{2}0, \frac{1}{2}0\frac{1}{2}, 0\frac{1}{2}\frac{1}{2}, \frac{1}{4}\frac{1}{4}\frac{1}{4}, \frac{3}{4}\frac{3}{4}\frac{1}{4}, \frac{3}{4}\frac{1}{4}\frac{3}{4}, \frac{1}{4}\frac{3}{4}\frac{3}{4}$ とする。
- 2) 右図にダイヤモンド格子（格子定数  $3 \text{ \AA}$ ）の電子線回折図形の模式図を示す。O スポットを  $000$  とし、A, B, C スポットに指数を付け、電子線の入射方向を求めよ。ただし、 $\overline{OA} = 2 \text{ cm}$ ,  $\overline{OB} = \sqrt{3} \text{ cm}$ ,  $\overline{OC} = 2\sqrt{2} \text{ cm}$ ,  $\angle AOC = 90^\circ$ ,  $L\lambda = 3 \text{ cm\AA}$  とする。ここで、 $L$  はカメラ長、 $\lambda$  は電子線の波長である。
- 3) 2) の電子線回折図形中、多重回折によって生じたスポットを示し、多重回折について説明せよ。



問3. 以下の問に答えよ。

結晶における単位胞の基本ベクトルを $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$ ,  $\vec{c}$ , 逆格子の基本ベクトルを $\vec{a}^*$ ,  $\vec{b}^*$ ,  $\vec{c}^*$ とすると,

$$\vec{a}^* = \frac{\vec{b} \times \vec{c}}{\vec{a} \cdot (\vec{b} \times \vec{c})} \quad \vec{b}^* = \frac{\vec{c} \times \vec{a}}{\vec{a} \cdot (\vec{b} \times \vec{c})} \quad \vec{c}^* = \frac{\vec{a} \times \vec{b}}{\vec{a} \cdot (\vec{b} \times \vec{c})}$$

$$\left( \vec{a} \cdot \vec{a}^* = \vec{b} \cdot \vec{b}^* = \vec{c} \cdot \vec{c}^* = 1, \quad \vec{a} \cdot \vec{b}^* = \vec{a} \cdot \vec{c}^* = \vec{b} \cdot \vec{a}^* = \vec{b} \cdot \vec{c}^* = \vec{c} \cdot \vec{a}^* = \vec{c} \cdot \vec{b}^* = 0 \right)$$

と表せる。 $(hkl)$ 面の逆格子ベクトル $\vec{g}_{hkl}^* = h\vec{a}^* + k\vec{b}^* + l\vec{c}^*$  が,  $(hkl)$ 面に垂直で, 長さが $(hkl)$ 面間隔 $d_{hkl}$ の逆数に等しくなることを証明せよ。